

## ●5 回連続地域説明会（山城地域の町村）皆さんの熱意で完了

24日の南山城村やまなみホールで参加者15人。今回が2年がかりの計画で、和束町を除いて、すべての南山城の11市町村で開催できました。最初は2018年2月の宇治市大久保の南部コミニテからの始まりでした。それから2年間をかけて全域を回りました。最終回は京都府の最南端南山城村のやまなみホールで打上げとなりました。展示物は山城の歴史31枚。木津川はどんな川36枚が主力で、中聖牛の説明や 里山農園教育棟を中心にしたオオムラサキ、カスミサンショウウオ、木津川での親子で遊ぶう学ぼう魚とりなどの写真説明で100点以上のパネルの展示となります。そして机の裾飾りには里山の会の横断幕を使って会場の雰囲気盛り上げました。スタッフの皆さんは開場が9時に開いていただけだったので、時間厳守で集合いただきました。今回の会場は井手町を除いて、かなりの所要時間が必要ですので、出発は8時ごろになるので、かなりの負担になりました。連続しての開催なので、随分とご無理をお願いすることになりました。心配していた天気はほとんどが晴天で、展示物の持ち込みには好都合でした。

1年前の取組み（前半6回）で前宣伝の充実を図るべきとの反省が、新聞社への呼びかけ記事掲載に頼り、週刊ユースでのお知らせが中心になりました。今年度の年間取組みの中で5月から行った個別専門会議の開催で把握した資料に基づいて会員各位との会話をしようとの申し合わせの最後の機会として、電話での参加呼びかけは、ほとんど実施されませんでした。最終回にやむを得ず全会員に手紙を郵送しました。間際だったのかもしれませんが、もう少し早く連絡があれば…といった声が届きました。

## ●第23回自然と環境講演会 3月3日 午後1時30分

今年の最大の行事は、なんとといっても国交省の理解もあって、京都大学や静岡の原小組さん、京の川の恵みを活かす会や各大学生諸君と取り組んだ中聖牛の設置作業であります。

今回大学生として中心を担い、約2年間にわたって中聖牛の取組にかかわってくれた田住君の卒業論文に「中聖牛」をまとめておられます。この田住君から卒業する前にも活動をしてくれた里山の会や地域の人々にお伝えすべきチャンスをと要請がありました。第23回自然と環境講演会ではその論文の発表をお聞きして、学びたいと思います。竹の切り出しや 分割、節の取り除き作業、そして蛇籠製作に出かけてきてくれました、神戸から京田辺に来てくれるのですからなかなか大変だったと思います。

私たち里山の会は、3回目となり昨年続く取組みなので、計画通りの企画に合わせようと随分と試行錯誤を繰り返し、孟宗竹や淡竹を使うなど試行を繰り返しました。しかし結局孟宗竹や淡竹では、曲げではうまく曲がらず、結局真竹に落ち着きました。これから、蛇籠編みに入るのですが、随分と苦勞を重ねました。そして制作に苦勞することになります。田住君はこうした取組みに加えてドローンを使って地形の変化の調査が待っていて、みんなの作業が終わった後、粘りを発揮して測量に取り組んでいました。里山の会の人と比べて2倍以上の時間を使っての研究だったと思います。ドローンの撮影写真の編集は帰宅してからの作業になるので、本当に頑張りました。こうした経過も踏まえて成果を発表していただきます。

中聖牛や竹蛇籠の製作はこれからもっと多く求められる見通しです。大いに彼の研究を自らのものにするために、一人でも多くのご参加をお願いいたします。

## ●第13回親子で花見乗船体験 3月31日（日）午前10時 京田辺府営団地西側

第3集会所付近の馬坂川で実施。昨年は早めの開花で当日にはほとんど花がなく葉桜時期までの端境期でした。昨年の経験から1週間早めの方が良いとの意見もありましたので、今回は3月の最終日曜日に設定しました。事務局会議では主として自力で準備を行わなければならないとの見通しを計算して、実行か中止を検討しました。強力で積極的な発言はありませんでしたが、取りやめという意見もなかったので、開催すとなりました。

もちろん最も困難なのは乗船装置の階段の組み上げと取り付け作業になります。ラバーダムによる水位上昇が開始される前の設置が得策で27日水曜日になるようです。またこの取組みにご協力いただけるお方のボランティアを求めることとなります。多くの皆さんの協力をお願いいたします。これまでは東小学校の範囲への呼びかけで実行してきましたが、参加者に少し余裕があったので、市内全域に呼びかけを行いたいと思います。

募集方法に申し込み方式を取り入れるか否かについてご意見をお聞かせください。また多額の運営経費も必要でもありますので、少しの負担金についてもご意見をいただければ幸いです。

### ●カスミサンショウウオの成体を発見 23日

急斜面のナラ枯れ木の伐採撤去作業を1月21日に実施したので、生息池の周辺は相当荒らされることになって、今年の産卵に大きな影響が出るのではないかと心配してきました。2月に数回の点検検査を行ってきましたが、23日に金田さんの網に2匹の成体が入りました。性別は判りませんが、カスミサンショウウオの成体(11.1センチ)が2匹発見されました。このニュースを聞いた伐採参加者は、ほっと胸を撫でおろしたのだと思います。月が替わると少し水温が上がると産卵が行われると思われれます。去年は卵嚢が24個でしたが。どうなることや少し気になります。夜間のカメラでの撮影ではアライグマやタヌキ、ノウサギ等やキツネらしきものも毎晩というほど撮影されています。かなり多くの生き物が生育していることが良く分かります。里山の会では池の保護を行うために周囲に電気柵を張って侵入してくるものを排除することにしました。

### ●3月度の取組

- 2日 10時 カスミサンショウウオの観察会 里山農園に集合 参加費無料 講師:桜谷保之先生
- 3日 13時 第23回自然と環境講演会 京田辺市中央公民館 参加費無料
- 10日 10時 自然環境保全京都府ネットワーク 年度総会 石清水八幡宮 研修センター 参加費 500円(日)
- 10日 13時 観察会共通 石清水八幡宮男山の自然観察会 事前申し込み制 60人 参加費 500円
- 12日 2019年度 木津川希少種植生調査管理業務 受注申請書提出期限
- 17日 9時 全日本生態学会 神戸市国際会議場 中西康太君研究発表 参加費 12,000円
- 23日 10時 親子花見乗船体験 馬坂川清掃と事前準備(案内看板とノボリ取付) 田辺府営団地 第3集会所
- 26日 13時 木津川希少種植生調査管理業務 完了報告監査 国交省淀川河川事務所
- 28日 13時 第3回理事会 里山の会事務所
- 31日 10時~14時 親子花見乗船体験 田辺府営団地第3集会所 馬坂川周辺